

地区ホームページ掲載 プロジェクト報告書

三次中央ロータリークラブでは、この度、未来の夢計画に伴うロータリー財団を通じた人道的奉仕活動の一環として、社会福祉法人ともえ会「子鹿医療療育センター」への支援を計画いたしました。本施設には入所者が80名、発達に課題のある子どもを対象とした通所支援事業「児童発達支援事業所バンビ」の登録者は24名いますが、昨年4月に発足したばかりで遊具が少ないので、遊具セット(ブランコが付いた滑り台)を寄贈することになりました。まず、7月29日のクラブ例会に淀川良夫センター長をゲスト講師として招き、勉強会を開催しました。その後、10月19日に、施設見学、遊具の除幕式、そして子どもさんたちと一緒に希望の花スイヤンの球根を植え、交流を図りました。



三次中央ロータリークラブが寄贈したブランコ付き滑り台

三次中央ロータリークラブ(RC)は、同市粟屋町の社会福祉法人ともえ会が運営する「子鹿医療療育センター」に遊具を寄贈した。

遊具は高さ2メートル、幅4メートル、ブランコは2基ある。昨年4月にオープンしたセンターに遊具がないことから、RCの会費など30万円で作った。Rセンターの広場に設けた。

三次中央ロータリークラブが寄贈したブランコ付き滑り台をセンターに

センターにブランコ付き滑り台を寄贈した。

プラスチック製で高さ2メートル、幅4メートル、ブランコは2基ある。昨年4月にオープンしたセンターに遊具がないことから、RCの会費など30万円で作った。Rセンターの広場に設けた。

三次中央RCが施設に遊具寄贈
三次市の三次中央ロータリークラブ(RC)は、同市粟屋町の社会福祉法人ともえ会が運営する「子鹿医療療育センター」に遊具を寄贈した。

遊具は高さ2メートル、幅4メートル、ブランコは2基ある。昨年4月にオープンしたセンターに遊具がないことから、RCの会費など30万円で作った。Rセンターの広場に設けた。

▲2013年10月24日(木)中国新聞県北版に掲載されました